

## 第 7 期福生市地域福祉計画・第 5 期福生市バリアフリー推進計画

### 基礎調査 実施概要

令和 6 年 7 月 16 日

#### 目的・趣旨

第 7 期福生市地域福祉計画・第 5 期福生市バリアフリー推進計画の策定にあたり、市民や地域の実態を把握し、施策や計画の評価指標を検討する基礎資料となることを目的として、アンケート調査等を実施します。

#### 調査概要

調査種別	調査種	調査方法	実施時期（予定）
アンケート調査	市民調査 (18 歳以上の市民 3,000 人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郵送配布</li> <li>・郵送又は WEB 調査での回答を自由選択</li> <li>・やさしい日本語版の回答フォームの作成</li> </ul>	令和 6 年 11 月頃調査票配付
	地域福祉関連団体調査 (100 団体)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郵送配布・回収</li> </ul>	令和 6 年 9 月頃調査票配付
ヒアリング調査	地域福祉関連団体調査 (10 団体)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査に回答のあった団体のうち 10 団体程度に聞き取り調査を行う</li> </ul>	11 月～12 月聞き取り調査実施

#### ※団体の対象想定

市内社会福祉法人、特養、介護事業所、障害サービス事業所、障害福祉施設、保育園、医師会、薬剤師会、歯科医師会、町会長協議会、老人クラブ、民生委員・児童委員協議会、保護司会、更生保護女性会、ボランティア団体、学校、日本語学校、公民館サークル、シルバー人材センター、商工会議所、消防団、銀行（金融機関）、NPO 等

## 設問設計（案）

### 1 アンケート調査

#### (1) 市民調査

現行計画に引き続き課題となると想定されるものと、新たな課題となる部分を軸に、調査項目を整理し、各調査項目に関連する質問を合計で30問程度設定し、調査を行う。

課題		調査項目	他調査※ で把握
1	◆ 地域活動を担う人材の不足 ◆ ボランティア活動の機会の不足 ◆ 地域活動への関心の低下	福生市への愛着	
		地域活動・ボランティア活動への参加状況	
		地域活動・ボランティア活動へ参加するために必要なこと	
		町会・自治会への加入状況、その理由	●
2	◆ 地域とのつながりの希薄化 ◆ 福祉課題を抱えた人の孤立	孤立の状況（外出・交流の有無、主観）	
		地域の人に自分からしてあげられること	
		地域の人にしてほしいこと	
		心のバリアフリーについてできること	
3	◆ 地域課題の複雑化 ◆ ライフスタイルの多様化による新たな地域課題の増加	暮らしの中で困っていること	
		困りごとについて相談しているか・していない理由	
		相談機関の認知度・利用状況	
		ひきこもり相談機関の認知度	●
		抱えている福祉課題	●
4	◆ 生活上の様々な脅威や不安の高まり	災害対策で特に市が取り組むべきこと	●
		防災対策や災害発生時に地域で担うことが望ましいこと	●
		特に必要だと思う防犯対策	●
5	◆ 福祉情報の散在化	福祉サービスや地域の情報入手先	
		十分に情報入手できているか	
		市の情報入手先	●
6	◆ 権利擁護等についての認知不足	成年後見制度の認知度	
		成年後見制度の利用意向・利用したくない理由	
		再犯防止対策の認知度	
		再犯防止に必要な支援	
7	◆ 互いを認め合う意識の醸成	多文化共生の推進のためにできること	●
		多文化共生の推進のために特に力を入れるべきこと	●

※市政世論調査で把握する見込みです。

## (2) 地域福祉関連団体調査

地域の現状・課題、地域活動の取組事例、課題の解決アイデアを広く把握するため、主に記述回答式の設定を合計 10 問程度設定し、調査を行う。

### ■ 項目案

- 活動上の課題
- 地域で課題に感じること
- 他団体との連携状況・希望

## 2 ヒアリング調査

地域福祉関連団体調査について回答があった団体のうち、課題の回答や行政・他団体等との連携方策について特に具体的に聞き取りを行いたい団体を抽出し、グループヒアリングを行う。